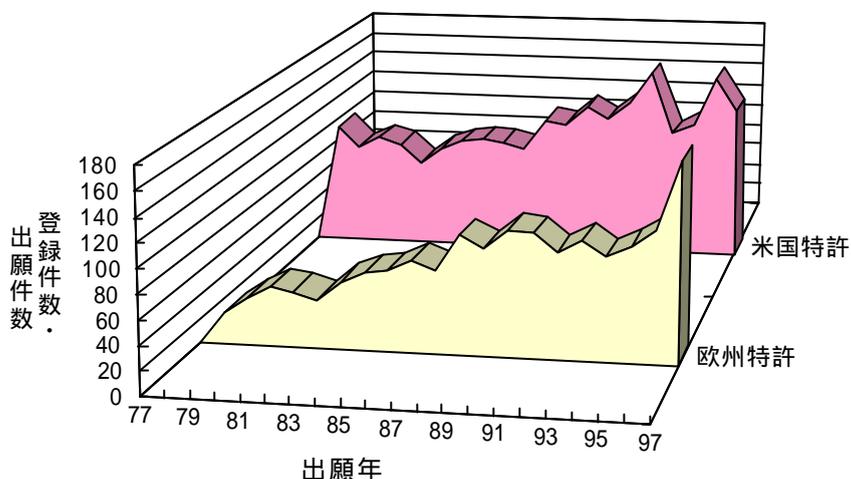


(6) 欧米特許の状況

米国特許の登録件数および欧州特許での出願件数は、それぞれ 2,504 件および 1,800 件と米国の方が 1.4 倍と多い。それぞれの特許件数の推移を図 1.2.3-45 に示した。

図 1.2.3-45 抗菌性化合物米国特許の登録件数および欧州特許の出願件数推移



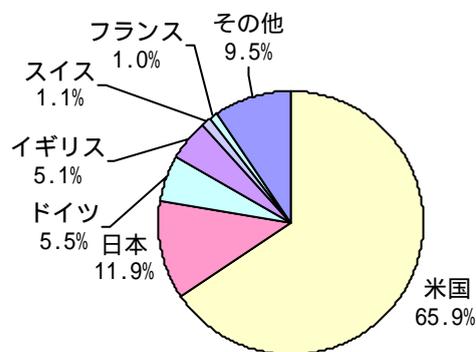
どちらの特許も 1982 年から件数の増加が始まり、1997 年までほぼ増加傾向が続いている。

米国特許での各国の登録件数および割合を表 1.2.3-1 および図 1.2.3-46 に示した。

表 1.2.3-1 抗菌性化合物
米国特許の国別登録件数

国籍	登録件数
米国	1650
日本	297
ドイツ	137
イギリス	127
スイス	28
フランス	26
その他	239
合計	2504

図 1.2.3-46 抗菌性化合物米国特許の
国別登録件数構成



使用データベース：
WPIINDEX(STN)
1978 年以降の出願で 2001 年
1 月現在収録のもの

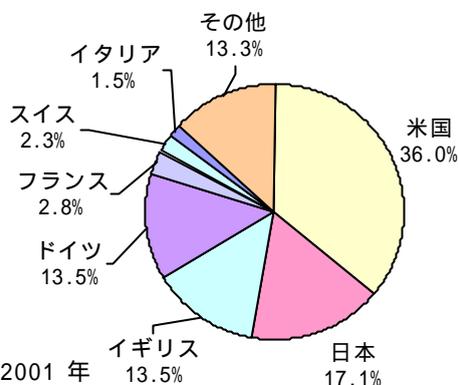
米国特許では米国からの出願が 66%と圧倒的に多く、1997 年の米国での全出願件数での米国人出願比率の 53%を大きく上回っている。外国からの出願として日本の 12%が最も多いが、全出願件数における日本からの出願比率の 18%と比べると少ない。その他ドイツとイギリスからが 5%台である。

欧州特許での各国の出願件数および割合を表 1.2.3-2 および図 1.2.3-47 に示した。

表 1.2.3-2 抗菌性化合物
欧州特許の国別出願件数

国名	出願件数
米国	648
日本	307
イギリス	243
ドイツ	243
フランス	51
スイス	42
イタリア	27
その他	239
合計	1800

図 1.2.3-47 抗菌性化合物欧州特許の
国別出願件数構成



使用データベース:

WPIINDEX(STN)

1978 年以降の出願で 2001 年
1 月現在収録のもの

欧州特許でも米国が 648 件で 36%を占める。これは米国の割合としては「特許行政年次報告書 2000 年度」に記載のレベルより 1.5 倍と高い。米国特許および欧州特許における主要出願人をそれぞれ表 1.2.3-3 と表 1.2.3-4 に示した。

表 1.2.3-3 抗菌性化合物
米国特許の主要出願人

出願人	登録件数
MERCK	67
DOW CHEM	49
BETZ LAB	47
NALCO CHEM	46
XEROX	43
ROHM & HAAS	41
UPJOHN	38
LILLY & ELI	36
EASTMAN KODAK	35
AMERICAN CYANAMID	32
BAYER	29
OLIN	29
SCHERING	27
CALGON	25
SQUIBB & SONS	24
ABBOTT LAB	24
CIBA GEIGY	23
PFIZER	21
BRISTOL-MYERS	20
ZENECA	20

表 1.2.3-4 抗菌性化合物
欧州特許の主要出願人

出願人	出願件数
BAYER	49
ROHM & HAAS	45
HENKEL	34
EASTMAN KODAK	32
ZENECA	28
CIBA GEIGY	27
HOECHST	27
MERCK	27
BASF	25
IMPERIAL CHEM	25
FUJISAWA PHARM	23
BETZ LAB	21
PROCTER & GAMBLE	21
OLIN	18
CALGON	17
SCHERING	16
DEGUSSA	15

1978 ~ 2000 年 6 月までに公開の出願

米国においては医薬品企業や化学企業が大半を占め、異業種としては XEROX が見受けられる程度である。特に水処理薬剤に強い BETZ、NALCO、ROHM & HAAS からの出願が多い。欧州でも化学企業と医薬品企業がほとんどで、旧 IG 3 社の BAYER、HOECHST、BASF が上位に位置している。日米欧いずれの国においても、米国、日本、欧州のドイツ、イギリスが出願の主要国である。